

平成29年度成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- ・都市部からのUJIターン希望者を南木曾に招き事業所との面談・体験会「なぎそまちをみてみよう 体験会」を中小企業雇用確保支援で行った。
- ・南木曾町観光協会の民営化についての検討を行ってきた専門部会（DC・民営化部会）において「南木曾町の産業観光振興のため今後、民営化する方向で進めていく」ことが確認された。
- ・長野県やJR各社が連携する大型誘客企画「信州デスティネーションキャンペーン」が7月1日から9月30日まで実施された。オープニングイベントでは、管内の町村長ら関係者が新宿発南木曾行の特急・木曾あずさ号の乗客を南木曾駅で出迎えた。
- ・平成26年7月9日発生南木曾町豪雨災害、御嶽山噴火の影響で観光客入込の落ち込みが続いているため引き続き木曾観光復興対策協議会・木曾観光連盟等とのタイアップによる観光PRイベントを各所で実施した。
- ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道の整備を行い、観光客の安全確保を実施した。また、柿其溪谷（恋路吊り橋駐車場）に公衆トイレを設置し、観光客の利便向上を図った。

2. 農政・農村整備・林務関係

- ・平成27年9月公布、平成28年4月施行の改正農業委員会法による農業委員を議会の同意を得て町長が任命。また、新たに設置した農地利用最適化推進委員は新農業委員会長が委嘱した。（いずれも任期：平成30年2月15日から平成33年2月15日）
- ・平成12年度から始まった中山間地域農業直接支払制度の4期（平成27～31年）と多面的機能支払交付金事業（平成26～30年）による各協定での取り組みが進められ農道・水路の維持管理が行われている。
- ・なぎそグリーンマーケットは5年目を迎えた。学校給食への活用もあわせ地産地消に取り組んだ。
- ・与川大橋の耐震改修が県営事業採択され、実施設計が行われた。改修工事は平成30年度・31年度で実施予定である。
- ・平成27年度から検討・調査を進めてきた細の洞水路での小水力発電事業を平成29年度は計画概要書を作成し、地域用水環境整備事業での新規地区採択申請を行った。
- ・国土調査事業は、田立大野正兼地区の山林部を実施した。
- ・地域に根差した木材利用の一つとして、薪等の木質バイオマス利用について、町民や事業者の意向等を把握するための「木質バイオマス利用意向状況調査」を実施した。
- ・日陰ボケ町有林で引き続き搬出間伐を実施した。

3. 7. 9南木曾町豪雨災害復旧工事

- ・28年度繰越工事（頭首工1か所・水路1か所）が完成した。
これで平成26年7月9日発生の農地・農業用施設災害復旧事業はすべて完了した。

4. 特別会計

妻籠宿有料駐車場特別会計

- ・駐車場使用料は対前年度比△7.2%、約198万円の減となった。車種別台数ではバス △20台、マイクロバス △82台、普通車 △3,376台、二輪車 △301台となっている。また、月別では10月の乗用車利用 △1,608台、11月 △710台と台風等による天候不順の影響が大きかった。

6. 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：35千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：3冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口に設置（役場、南木曾会館）

○中小事業者雇用確保支援事業

- ・目的：町内中小事業者は雇用の確保が事業継続にあたって大きな課題となっている。都市部におけるU J Iターン希望者を対象にした事業所説明会を開催することにより、町内事業所への就労について働きかけを行い、雇用の確保と定住者の増加を図る。
- ・概要：町内中小企業者に説明会参加の希望をとると共に、町内出身者を中心にU J Iターンを希望する参加者を募り、南木曾町において事業所説明会(事業所へ訪問する事業)を開催。

- ・平成29年11月28日

南木曾町産業活性化検討委員会設置規約に基づく商工観光部会を開催

中小事業者雇用確保支援事業の概要説明。スケジュールについて説明。承認を得る。

- ・平成29年12月4日

町内事業者に対し雇用に関する意向調査を実施

調査内容：従業員募集の意向の有無、事業参加の有無、希望会場、募集内容
住宅確保の可否

- ・事業名称：なぎそまちをみてみよう 体験会
- ・募集対象：中京圏居住者。2日間参加でき、原則、移住を検討している25名。
- ・参加費：1人2,000円（大人・子どもの区分なし）
- ・開催日：平成30年2月10日(土)～11日(日) 夕食朝食付

2/10 12:30～オリエンテーション：概要説明、町内各種施策説明

13:00～15:30 町内施設等見学（住宅、観光施設等）

15:40～ 企業訪問・面談

17:15～ アイスキャンドル祭り見学

18:30～ 先輩移住者との懇談会

2/11 9:00～ 町内施設等見学（金融機関、スーパー等）

10:30～ 終わりの会 アンケートの記入など

- ・参加者：1家族 2名

- ・告知事業

新聞社へ情報提供：中京圏の新聞社、テレビ局などメディアへのプレスリリース

告知イベント開催：平成30年1月20日(土) 名古屋市東区イオンモールナゴヤドーム店
フリーペーパー「クラブナゴヤ」 平成29年12月28日 30万部発行 1/4P 広告

・事業の課題

HP、Facebook 閲覧者は多いが、申し込み増につながらない。

事業継続にあたって雇用の確保という大きな課題に対し、都市部における UJI ターン希望者を対象とした事業所見学会を開催することは、雇用の確保と定住者の増加を狙う一手段として有効であり、先行型として取り組む事業である。賛同した町内企業も雇用の重要性を認識している。都市部での移住セミナー開催後の日程で体験会の開催を検討。ゲストハウスとのコラボ企画も検討したい。

・事業の方向性に関する考え

参加者からは先輩移住者の経験談を聞くことができ、町の施設、暮らしの様子が分かり良かったとの声が聞かれた。今後も実際に町を見ていただくイベントを基軸に事業展開を検討していきたい。また、U I J ターン希望者の目に触れることが、参加者増につながるなので、今後も様々な媒体を活用していきたい。

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、平成 28 年度対比で増額（13,400 千円）となった。融資内容としては、設備資金が約 89%（30,400 千円）を占めた。

・町中小企業振興資金（年利 2.0%）

預託金	総 額	21,500 千円	
		八十二銀行	11,000 千円
		岐阜信用金庫	6,500 千円
		木曾農協	4,000 千円

・融資の状況

町制度資金	2 件	2,800 千円
県制度資金	4 件	30,400 千円
計	6 件	33,200 千円

・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金	2 件	68 千円
県制度資金	4 件	729 千円
計	6 件	797 千円

・災害影響による借入に対する利子補給

7 件	983 千円
-----	--------

※運転資金 6 件、設備投資 1 件

○小規模事業者への指導

・小規模事業指導費として南木曾商工会に 4,500 千円を交付。経営指導、融資斡旋などを実施。

・南木曾スタンプ組合と南木曾町商品券加盟店会が統合され、H25 に「なぎそ・おたのしみカード会」が発足。地域内消費拡大事業補助金として 200 千円を交付

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に96千円を交付。
- ・第32回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品147点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル4台、ベンチ8台を町内観光地等へ配置した。

事業費 193千円、

設置場所：妻籠宿第1駐車場、蘭キャンプ場、和合南集会所、山の歴史館

○伝統工芸品の振興

町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため、次の団体に助成を行うとともに、各種イベント・物産展への参加とPR及び販路拡大を図った。

- ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曾ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 350千円
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○南木曾地域産業労働安全大会

- ・町、木曾森林管理署南木曾支署、商工会共催
- ・7月20日 78名参加 南木曾町会館
- ・講話「労働災害等の防止について」（松本労働基準監督署 産業安全専門官）

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 201名（平成30年3月末現在）
- ・加入事業所数 45企業
- ・共済給付事業 祝 金 25件 234,000円
見舞金 2件 26,000円
弔慰金 10件 100,000円
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0件
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 38件 201,428円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 998,073円

○集合型商業施設（ショッピングセンター）の検討

小売事業者等の商店の廃業や撤退、高齢者等の買い物弱者対策等への対応を含めて検討していく「南木曾町ショッピングセンター開設協議会」を平成28年に設置している。

平成29年度には協議会内の中心メンバーでより具体的な協議をしていく部会として「ショッピングセンター検討会議」を設置して検討している。

- ・開設協議会 9月12日、11月30日
- ・検討会議 10月5日、11月2日、12月5日、
1月19日、2月15日、3月22日

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数 18 件 (内 クーリングオフ手続き指導 : 0 件、契約解除指導 : 0 件、警察へ通報・相談 : 0 件、放送による周知 : 5 件、相談受付のみ : 13 件)
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収と廃油利用 (回収実績 1,150ℓ)

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曽地域交通網対策協議会で、JRへの要望活動を実施

平成29年10月20日 中央西線 (JR東海) 利用に係る要望書を長野県へ提出

平成30年 1月29日 「長野県JR連絡調整会議」(県庁)

○南木曽駅窓口業務の受託

JR東海の南木曽駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施

- ・町による窓口業務 平成24年10月1日～
- ・営業時間 午前7:50～午後4:05
(昼休憩 11:10～11:30 12:35～13:15)
- ・業務時間 午前7:30～午後4:30
- ・窓口従事者 1人体制
- 乗車券類販売額 47,896千円 (H28 45,882千円)
- 販売手数料 2,241千円 乗車券5%、定期券1.8%
(H28 2,139千円)
- ・運営経費 賃金:3,103 需用費:357 使用料:214 (単位:千円)
※H28 賃金:3,031 需用費:281 使用料:19 (単位:千円)

(4) 地元特産品の宣伝開発等

○工芸街道祭り(実行委員会主催)

11月4日～11月5日 (町補助金:300千円)

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

○第16回なぎそミツバツツジ祭り(実行委員会主催)

4月8日～16日 (町補助金:300千円)

来客数:1,795人 バス・マイクロバス 10台 乗用車423台 二輪車6台

※H28 来客数:5,188人 バス・マイクロバス 44台 乗用車1,593台 二輪車34台

出店者売上(16店) 1,722千円

○田立の滝開き

4月28日

○蘭桧笠生産協同組合総会	5月17日
○南木曽ろくろ工芸組合総会	5月26日
○南木曽山麓蘭キャンプ場・南木曽岳登山安全祈願祭	6月10日
○田立和紙保存振興会総会	7月 8日
○妻籠宿火まつり	8月26日
○田立の花馬祭り	10月 1日
○与川古典庵の観月会	10月 4日
○工芸街道祭り	11月 4日～5日
○文化文政風俗絵巻之行列	11月23日
○新春狼煙上げ	1月 4日
○信州DC 木曽あずさ号運行（7月1・2日、8月26・27日、9月9・10日）	
新宿～南木曽駅間 利用実績 2,400 名	
いろいろ木曽路号の特別運行（7月29日～30日）	
長野～南木曽駅間 利用実績 640 名	
○JR東海 秋の特別観光列車とのタイアップ 中山道トレイン（11月3日）	
中津川～奈良井間 利用実績 1,100 名	
○その他の観光展・イベント等への参加	
・信州DC 名古屋駅観光キャラバン（5月26日）	名古屋駅
・伊那路・木曽路広域連携観光PR展（6月11日）	名古屋駅
・信州DC大森駅観光キャラバン（6月16日）	大森駅
・信州DC名古屋駅観光キャラバン（7月15日）	名古屋駅
・蘭桧笠PRキャラバン（7月18日）	天龍峡他
・信州DC 長野駅観光キャラバン（8月19～20日）	長野駅
・町イチ！村イチ！2017（12月1日～3日）	東京国際フォーラム
・ろくろ展示販売イベント（3月2日～5日）	東京都秋葉原

（2）広告宣伝関係

- パンフレット類の作成（一部観光協会とタイアップ）
 - ・観光総合パンフ「ぶらり南木曽」 25,000 部
 - ・「ガイドマップ南木曽町」 30,000 部
 - ・「桃介橋リーフレット」 10,000 部
 - ・「柿其溪谷リーフレット」 10,000 部
- メディア関係広告掲載
 - ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載（年間随時）
 - ・各種取材への対応
 - ・TV放送取材の対応
- 南木曽町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曽」
 - ・英語版、スマホ英語版への対応管理、運営

(3) 観光施設

- 田立の滝登山道整備事業 工事費 5,674,400円 ※H28 繰り越し分
登山道の階段、吊橋を整備
- 田立の滝登山道整備事業 工事費 2,980,000円 (前払分) ※H30 へ繰越し
登山道の階段、吊橋を整備
- 観光地トイレ整備事業 工事費 5,246,640円
恋路の吊橋の駐車場へ公衆トイレを整備
- 柿其溪谷遊歩道整備事業 工事費 5,504,760円
遊歩道の栈橋、吊橋を整備
- 旧公衆便所撤去工事 工事費 1,944,000円
旧公衆便所(3箇所)の取り壊し
- 妻籠宿第1駐車場待合所棟維持補修事業及び外構整備事業 工事費 5,346,000円
待合所棟の建替え、荷物預り所棟の取り壊し、外溝整備
- 国際観光地を目指した観光地魅力アップ事業
元気づくり支援金事業 工事費 1,728,000円
看板購入費 421,200円
中山道と南木曾岳周辺等の案内看板を整備、インバウンド対策で英語表記の記載。
- ビューポイント整備事業
496,778円(県補助金201,000円、大桑村負担金75,000円)
恋路峠展望台の案内板、安全柵、手摺り、鐘を設置。
- 観光施設修繕工事等 合計6,421,062円
南木曾岳登山道(上の原ルート)笹刈り、田立花馬の里ミニプラザトイレ修繕、古典庵遊歩道手摺り設置、田立駅前駐車場区画線引き、男滝下遊歩道修繕、田立の滝(螺旋滝下)遊歩道修繕、歴史の道熊除け鈴設置、松原御小休所屋根修繕、天白ツツジ園群生地整備、妻籠宿場内案内看板修繕、他
- 観光施設、登山道、歩道等の維持管理(草刈、小修理など)
 - ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、川西古道、与川歴史の道、SL公園ほか
 - ・天白公園ツツジ園(中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施)
- 観光案内板等の小修理、維持管理
 - ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿他
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合
(指定期間)平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
指定管理料：1,600,000円(河川公園と併せて)

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計	H28実績
512	233	198	200	241	255	237	477	0	19	2,372	2,075

※12月～3月下旬まで冬季閉館

- 観光地整備事業補助金の交付

* 観光団体	南木曾山麓蘭キャンプ場組合
・ 事業名	園地内枯れ枝切り落とし、支障木伐倒事業
・ 事業費	320,760円（補助金：280,000円）
* 観光団体	南木曾ろくろ工芸協同組合
・ 事業名	前山～山の神整備事業
・ 事業費	1,074,600円（補助金：700,000円）

（４）広域観光連携の取り組み

○木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・「木曾路フリーきっぷ」とのタイアップ（主催：JR東海） 4,327名
バス・タクシー利用券＋観光施設無料入場券（4,000円）
お買い物券（妻籠宿登録店：2,000円）
- ・「新幹線木曾路フリーきっぷ」 静岡発 29名、関西発 43名
- ・「日帰り1day木曾路」 宿場町散策マップを付けた旅行商品（通年販売） 834名
- ・「信州DC企画いんどり木曾路号」の特別運行
長野駅から南木曾駅への観光臨時列車の運行（7月29日～30日）

○木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携

- ・「季刊誌木曾路（年4回発行）」による旬な情報発信

○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・ 県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究
（南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村）

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・ 伊那路木曾路 信州DC名古屋駅キャラバン（名古屋市 6月）
- ・ 伊那路木曾路ハイウェイキャンペーン（岡崎市 2月）
- ・ 伊那路木曾路広域観光推進懇談会の開催（飯田市 2月）
- ・ 伊那路木曾路トレイルガイドの作成

（５）観光協会等

○南木曾町観光協会（町補助金：通常分 550,000円 観協人件費分 3,800,000円）

- ・ 7月6日総会開催
- ・ 観光案内、宣伝、イベントへの参加協力、取材協力と案内、広告掲載
- ・ インバウンド事業への取り組み
海外の旅行社、マスコミ関係者の対応・案内
- ・ 県、木曾観光連盟の誘致活動への協力
- ・ 各支部加盟団体との連携協力による活動
- ・ DC・民営化部会
信州DCの対応・民営化の検討について3回開催した。民営化については、商工会観光部事業の阿智・昼神観光局の講演会への参加や、上松町観光協会の状況確認といった調査研究を実施

した。部会では民営化する方向付けが確認され、今後は具体的な検討・調整を関係機関とも協議しながら進めることとなった。

○南木曾駅観光案内所 (開設期間) 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
臨時職員を雇用し、1日1名体制(4名で運営:観光客案内、駅前公園の清掃等)

○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施した。

加盟団体:木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議

○南木曾駅観光案内所対応件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	H29	835	807	507	680	777	659	805	638	296	264	277	600	7,145
	H28	554	557	377	528	590	591	730	616	272	212	269	545	5,841
	H27	635	383	239	330	491	445	459	496	223	180	175	379	4,435
	H26	374	371	164	134	293	317	332	370	146	5	112	254	2,872
案 内 人 数	H29	2,061	1,857	1,097	1,592	1,700	1,392	1,868	1,433	672	549	625	1,413	16,259
	H28	1,329	1,230	783	1,153	1,315	1,350	1,567	1,557	564	433	750	1,365	13,396
	H27	1,709	893	503	846	1,163	805	1,225	1,142	472	356	482	967	10,563
	H26	711	705	279	202	474	555	603	690	236	9	187	444	5,095
外 国 人	H29	4,050	2,798	1,636	2,282	2,493	2,134	3,837	2,596	703	566	648	1,959	25,702
	H28	3,133	2,313	1,378	2,290	2,360	1,877	3,476	2,183	725	464	597	1,627	22,423
	H27	3,165	2,114	989	1,769	1,968	1,657	2,393	1,883	589	371	534	1,531	18,963

※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。

○観光客入込数

単位:百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
H29	3,849	149	30	170	378	131	4,704
H28	3,943	148	31	145	412	117	4,796
H27	4,183	148	51	157	368	91	4,998
H26	3,975	145	67	140	415	85	4,827

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

H29	25,513	H28	22,882	H27	17,290	H26	13,023
-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 4月 7日 連合長野県会議 伊那市高遠町
- ・ 4月17日～18日 連合担当者会議 東京都
- ・ 6月21日 連合長野県会議PR活動(名古屋) 金山駅
- ・ 6月28日～30日 連合定期総会・戦略会議 山形県飯豊町
- ・ 10月10日～11日 連合長野県会議・視察 岐阜県東白川村
- ・ 11月15日 担当補佐役会議 東京都

○長久手市との交流

通年：観光施設で交流町村優待サービス事業

- ・ 4月 1日～ 新生児祝い品事業 実績数：640件 (H28：636件)
- ・ 7月19日 平成こども塾受け入れ打合せ 南木曾町
- ・ 7月28日 長久手市学習講座「木木☆おもちゃファクトリー」打ち合わせ
長久手市
- ・ 8月 9日 平成こども塾受け入れ(マスつかみ) 参加者：長久手市35名
南木曾町30名
- ・ 10月14日 長久手市学習講座「木木☆おもちゃファクトリー」
長久手市
- ・ 10月18日 ながくて市民祭り実行委員会 長久手市
- ・ 11月12日 ながくて市民祭り 長久手市

○上下流交流

- ・ 10月12日 上下流交流実行委員会 木曾町
- ・ 11月25日 木曾川と堀川・上下流を繋ぐ交流会 名古屋市

○木曾三川流域連携

- ・ 4月14日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 8月31日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 9月30日 木曾三川流域自治体サミット 津島市
- ・ 12月13日 木曾三川流域連携シンポジウム 名古屋市
- ・ 2月 1日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市

平成29年度 商工観光関係 工事関係

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
田立の滝登山道整備事業 (H28 から繰越し)	登山道整備	設計費 702 工事費 5,674 工事総額 9,644			6,000		376	吊橋修繕(2橋) 階段工(4箇所)
田立の滝登山道整備事業 (H30 へ繰越し)	登山道整備	工事費(前払分のみ) 2,980 工事総額 7,452			2,900		80	吊橋修繕(1橋) 階段工(1箇所)
柿其溪谷遊歩道整備事業	遊歩道整備	設計費 216 工事費 5,505			5,700		21	吊橋修繕(1橋) 遊歩道補修工(2箇所)
観光地トイレ整備事業	公衆トイレ整備	設計費 443 工事費 5,247			5,500		190	公衆トイレ新設
旧公衆便所撤去工事	旧公衆便所撤去	設計費 249 工事費 1,944					2,193	旧公衆便所取壊し (3箇所)
国際観光地を目指した観光地 魅力アップ事業	看板整備	事業費 1,728		1,296			432	中山道と南木曾岳周辺 等の案内看板整備 (5箇所)
妻籠宿第1駐車場待合所棟維 持補修事業及び外構整備事業	待合所棟建替等	設計費 530 工事費 5,346					5,876	待合所棟の建替え 荷物預り所棟取壊し 外構整備

4. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

①委員会協議・処理対応事項

- ・ 定例委員会・・・12回（毎月） 、 臨時委員会・・・1回（2月）
- ・ 農業委員改選
- ・ 農地案件の現地確認調査
- ・ 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・ 農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・ 転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・ 農地利用状況調査・農地利用意向調査
- ・ 農地無断転用防止のパトロール活動
- ・ 農作業安全運動推進PR
- ・ 農作業標準料金の審議
- ・ 農地農家台帳システムの整備(フェーズ2への移行)
- ・ 町内各生産部会等への参画と町内農事懇談会への参加
- ・ 全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・ 長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

②農業委員名簿

任期 平成27年2月15日～平成30年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
長渕 充章	田立全域	公選	勝野 芳成	神戸・妻籠・大妻籠	公選
小倉 勉	与川・十二兼	公選	高橋 民義	田立全域	公選
松下 建三	上在郷・蘭・広瀬	公選	伊藤 兼彦	妻籠・大妻籠・上在郷	公選
田口 義廣	北部全域・金知屋	公選	古井 小恵子	田立全域	議会推薦
尾崎 省吾	上在郷・蘭・広瀬	公選	山川あゆみ	上の原・三留野	議会推薦
小倉 敏保	田立全域	公選	早川 親利	川向北部	農協推薦
松原 規行	三留野・与川	公選	13名		

【農業委員】

任期 平成30年2月15日～平成33年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠地区	地区推薦	古井 小恵子	田立地区	地区推薦
松原 徳則	与川・北部地区	地区推薦	片田 恵	田立地区	地区推薦
尾崎 省吾	蘭・広瀬地区	地区推薦	小原 明信	蘭・広瀬地区	地区推薦
山川 あゆみ	三留野地区	地区推薦	青木 房江	妻籠地区	団体推薦
早川 親利	三留野地区	団体推薦	小倉 敏保	田立地区	地区推薦
小倉 勉	与川・北部地区	地区推薦	11名		

【農地利用最適化推進委員】

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書地区全域	地区推薦	松下 建三	吾妻地区全域	地区推薦
高橋 民義	田立地区全域	地区推薦	3名		

③平成29年度農地関係取扱件数

(面積は小数点以下第1位で四捨五入)

内 容	件数	面積(m ²)
農地法第3条による所有権移転(売買等による農地の所有権移転)	3	4,974
農地法第4条による農地転用 (所有権者本人による農地以外への転用)	2	626
農地法第5条による農地転用 (所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用)	12	4,795
公共事業による農地転用	2	10,492
現況証明	2	1,133
非農地通知	39	35,967

参考：平成29年度における農地以外への地目変更面積 53,013 m²

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。農業委員と集落協定関係者で現地確認を実施した。

・事業の内容

南木曾町への米の生産目標数量は440tに対して確定(実績)数量は529tであった。

町内に交付された交付金は総額10,077千円(28年度10,366千円)となった。

○米の直接支払交付金

作物名	単価(円/10a)	面積(㌥)	交付金額(円)
主食用水稻	7,500	5,042	3,781,500

○畑作物の直接支払交付金

作物名	面積(㌥)	交付金額(円)
そば	36	165,965

○水田活用の所得補償交付金

(1) 戦略作物助成

作物名	単価(円/10a)	面積(㌥)	交付金額(円)
大豆	35,000	28	98,000
飼料作物	35,000	800	2,800,000
発酵用稲(WCS)	80,000	206	1,648,000
合計		1,034	4,546,000

(2) 産地交付金

	単価(円/10a)	交付金額(円)
産地資金	※下記単価参照	1,584,098

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること
(以下10㌥当り単価)

そば：4,242円 大豆：7,500円 飼料作物：8,000円 WCS：20,000円

スイートコーン・赤かぶ：21,328円 インゲン・トマト・えごま・トコキリ：16,968円

水田放牧：13,000円

②地域農業対策

町では地域営農体制の整備、農地の有効活用をとおり、持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため各種の取り組みを実施した。

* 大家畜特別支援金融資利子補給金 2名 36,232円

* 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

平成29年度利用実績 0件 貸付現在高(平成29年度末) 0件 0円

* 農振農用地一般管理事業

編入面積 0㎡ 除外面積 1,883㎡ 用途変更 0㎡

* 農地流動化対策

年度別流動化面積(農業経営基盤強化促進法に基づくもの)

年	設定面積	年度末設定面積合計
平成23年	6.88ha	20.1ha
平成24年	2.88ha	20.6ha
平成25年	6.06ha	22.0ha
平成26年	5.08ha	22.5ha
平成27年	10.55ha	27.2ha
平成28年	7.25ha	26.7ha
平成29年	3.12ha	22.7ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計)

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、第4期対策として平成27年度から5年間の取り組みが始まった。取り組みは、約172戸の農地を対象に26集落1個別協定で実施。

交付金の配分については各集落毎の取り決めにより個人配分が0%~50%、共同取組分が100%~50%の割合で配分され各集落で活用されている。平成29年度の各集落への交付金支払状況と、平成28年度交付金の集落における主な共同取組分の使用状況は次のとおり。

交付金 36,639,778円(内訳: 国 18,319,880円. 県 9,159,925円. 町 9,159,973円)

平成29年度交付金				平成28年度交付金(共同分)の主な使用状況					
集落名	農家数(戸)	参加農地面積(㎡)	支払交付金(円)	共同分(%)	農道・水路管理費(円)	鳥獣被害防止対策費(円)	共同利用機械購入等費(円)	共同利用施設整備等費(円)	その他(円)
与川1区	19	88,792	1,733,662	100					84,208
与川3区	17	81,445	1,628,445	60	780,532				61,480
与川4区	14	72,358	1,368,679	70	151,752	28,000	409,780	10,860	270,625
与川5区	8	33,662	813,972	70	385,000				40,000
十二兼	11	51,411	994,739	60	369,500	70,000	199,076		49,800
本谷	20	81,034	1,701,714	50	709,560	13,469			2,016
岩倉	21	84,878	1,856,172	70	2,479,137	202,392			
椰野	5	20,409	428,589	70	300,000				
川向	5	27,712	409,209	80	326,000				
上の原	20	137,381	3,230,888	50	1,481,115	50,000			1,769,298
神戸	17	44,038	975,522	70	966,600				76,543
渡島	4	11,304	202,769	60	157,000				540

妻籠町上	15	43,718	715,463	60	195,000	319,049			67,884
橋場	16	43,728	916,748	50	273,360				38,400
大妻籠下り谷	12	60,982	1,337,852	70	370,000	472,520			130,000
上在郷	14	49,810	1,143,456	60	200,972	225,644	240,800		64,678
尾越	10	18,470	426,516	70					
上段	21	53,759	1,128,939	60	277,760				78,480
蘭	14	20,593	432,453	60	114,756				56,620
元組	30	90,611	1,902,831	70	500,000	74,500			736,709
向栗畑	26	103,977	2,141,237	70	1,500,000	19,200			68,658
栗畑	32	117,876	2,428,030	70	1,337,071	76,000	40,000		153,107
下切	26	89,765	1,933,151	50	146,533	250,874	78,506		157,656
大野	11	64,792	1,667,766	70		140,953			732,967
正兼	20	80,822	1,982,106	70	928,800	518,980			7,713
塚野	31	130,984	2,860,116	70	414,296	129,600			796,200
神橋(個別)	—	13,274	278,754	—	—	—	—	—	—
計	439	1,717,585	36,639,778	—	14,364,744	2,591,181	968,162	10,860	5,443,582

④経営体育成支援事業（条件不利地域補助型）

事業内容 木曾南部ライスセンター色彩選別機（2台）

事業主体 木曾農業協同組合

事業費 19,839,600円【補助金9,185,000円、町村補助3,551,000円（南木曾町2,557,000円、大桑村994,000円）、自己資金7,103,600円】

⑤園芸特産振興事業

茶振事業

田立製茶工場は5月13日～5月29日まで17日間操業し、生葉17.1トンの受け入れを行った（前年度△0.1ト）。6月23日（金）に開催された第44回長野県茶の共進会は、南木曾町から6点出品されましたが、残念ながら努力賞のみでした。

【褒賞授与式：6月25日（日）、飯田市】

製茶工場の運営は、高齢化・天候不順等により生葉の総受入数量が減少している。また買取希望数量は増加する傾向が続いています。

野菜関係

地産地消の意識の高まりから、農協を通じ農家の自主的運営で野菜直売が行われている。農協を通じた直売は田立地区を中心とした農家で取り組まれ、Aコープで販売されている。消費拡大を目的に生産・販売・消費・観光関係者で「地産地消推進会議」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。「軽トラ市場」は7月から12月まで15回開催した。その他学校給食食材供給者に対して運搬費補助を実施した。

（軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況）

開催数	売上合計	出店者数	開催場所
15回	342,760円	62店	南木曾駅横駐車場・旧田立小学校体育館・笠の家駐車場

(学校給食食材提供運搬補助実績)

	【小学校】			【中学校】		
	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
合計	41	6,780	111,955	135	36,175	168,933

花卉・花木関係

出荷数量/本

品種	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ヒペリカム	2,860 本	3,924 本	3,255 本
こうやまき	17,936 本	13,956 本	14,725 本

みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した(対象戸数7戸)。

結果、発生は確認されなかった。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑥畜産振興事業

・家畜飼育状況(平成30年2月末現在)

(単位:頭)

年度	乳牛		肉用牛		馬	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖雌牛数	農家数	頭数
23	1	34	12	87	1	2
24	1	31	12	75	1	2
25	1	31	12	78	1	2
26	1	31	10	65	1	2
27	1	27	10	59	1	2
28	1	30	10	61	1	2
29	1	32	9	64	1	2

・家畜市場状況の推移(南木曾町)

(単位:平均金額・売上合計/千円)

年度	雌		去勢		計		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
23	42	359	39	403	81	382	31,230
24	37	395	30	414	67	402	27,572
25	24	442	35	510	59	482	28,431
26	27	506	33	549	60	529	31,798
27	31	565	26	723	57	637	36,347
28	25	671	28	811	53	745	39,490
29	26	693	33	780	59	742	43,775

※家畜市場の市況は、全国的に繁殖和牛農家が減少し、子牛が不足していることから、今年度も高値で取り引きされた。

・畜産の活性化事業

肉用飼育牛の更新を進め畜産農家の経営安定を図るため、素牛導入に対する支援を行った。

素牛導入数 4頭(1/2補助、870.7千円)

・家畜診療関係

平成 16 年度から NOSAI 中信診療所へ委託。

平成 29 年度は、運営負担金 366,000 円・木曾地域特別負担金 477,000 円を支出した。

・町単肉用牛導入事業

*平成 29 年度 1 頭導入 (972,561 円)

年度末保有町有牛 6 頭 (1 代目 6 頭) 評価額 計 4,102,959 円

・農事組合法人長者畑草地利用組合関係

飯伊木曾畜産基地建設事業で平成 2 年に着手し平成 5 年に完成し利用組合(現在組合員 6 戸)へ管理委託している。耕地は草地林地一体的利用総合整備事業で平成 13~14 年度にかけて草地更新を実施してきたが、近年では機械の経年劣化、鳥害対策、組合員の高齢化、草地への外来雑草の侵入による生産力低下などの様々な事情により、平成 29 年度は 27 ロールの生産となった。平成 28 年度に県の協力を得て実施した草地更新は経過を観察している。

H29 長者畑草地利用組合への助成金 899,351 円

(国有林賃借料、車検代、施設・車両修繕)

・大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合(組合員 6 戸)に、草地利用・管理を委託するとともに、ロールラップサイレージ(牧草ロール)の調製を推進した。現在、草地の一部を公共工事の残土処理場等として一時的に利用しているが、一部返地がされ、牧草を播種し草地としての利用を開始した。

今後は、組合員の高齢化や家畜頭数の減少、畜産農家近隣の利用権設定による牧草作付が増えてきたことなどから草地の活用方法は今後の課題である。

・放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした放牧事業(小規模ブロック移動放牧)を平成 23 年度から引き続き実施した。牛の放牧については、放牧期間中は畜舎が空くため日常的な家畜の管理が不要となる等のメリットはあるものの、遠方に放牧することにより、見回り等が必要となるため、逆に飼育に対する負担感が発生する場合もあり、面積は減少傾向にある。

放牧期間・面積 5 月から 10 月(6 カ月) 300 ㍊(前年 600 ㍊)

放牧場所: 夏虫・上の原・塚野

数年前から、牛の放牧に加えて綿羊(サフォーク種)の放牧も実施しており、牛に比べて移動が容易である等のメリットがあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

⑦農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

・電気柵を購入・設置した場合に購入経費の 2 分の 1 を補助(上限 3 万円 ただし中山間地域直接支払制度受益農地は対象外)を実施した。

・29 年度実績: 1 件 補助金: 24,515 円

⑧農業技術、生活改善等の普及指導、試験研究

農業関係の普及事業等について農業改良普及センターや農協との連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動
- ・農技連総会 5月19日
- ・稲作現地指導会 6月(26か所)
- ・施肥防除基準説明会 11月(24か所)
- ・冬期農事懇談会 3月1日～3月6日 4日間 22か所 参加175名
- ・有害鳥獣被害対策研修会 8月23日
- ・ドローンによる本田防除デモンストレーション 8月23日
- ・むらおこし活動支援 岩倉むらおこし組合
- ・農作物災害対策(凍霜害ほか)
- ・病虫害駆除対策

⑨農業共済組合との連絡調整 組合と農家との円滑な連絡調整を図った。

(別表)

平成 29 年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業委員会運営経費			3,218		1,181			2,037	ソト事業
機構集積支援事業			1,285		373			912	ソト事業
合計			4,503		1,554			2,949	

(2) 農業振興関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業経営基盤強化資金利子補給事業			36					36	ソト事業
中山間地域等直接支払交付金			36,640		27,480			9,160	
水田農業経営確立推進事業			482		240		182	60	
園芸特産振興事業	直売所 組合	えごま搾油施設 改修補助	556					556	
NOSAI 中信家畜診療所負担金			843					843	
長者畑草地利用組合関係事業			899					899	
素牛導入事業		和牛 1 頭	871					871	
むらおこし組合施設運営補助事業			50					50	
南部ライスセンター設備補助 (経営体育成支援事業補助金) (水田農業共同利用施設整備事業補助金)	JA 木曾	色彩選別機導入 (2 台)	11,742		9,185			2,557	

5. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

○土地改良施設修繕

- ・中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。(農道1件、水路3件)

○土地改良施設原材料支給

- ・農道整備原材料支給

各区で実施する農道整備のための原材料支給を行った。(1件)

- ・水路改良原材料支給

各水利組合で実施する水路整備のための原材料支給を行った。(1件)

(2) 土地改良施設維持管理適正化事業

本事業は、施設の整備や補修など維持管理を目的に事業費の3割の額を5年の間に拠出金として積立て、事業実施年度に国・県の補助金を合わせた9割の交付金と1割の受益者負担で工事を実施した。

平成29年度は、与川五区「坂本平水路」及び恋野地区「鯉ヶ岩水路」の改良工事を実施した。

(3) 農地農業用施設災害復旧事業

平成26年7月9日発生豪雨災害については、平成28年度繰越事業の2箇所（頭首工1、水路1）を竣工した。また、平成28年災については、平成28年度繰越事業の1箇所（水路1）を竣工した。

平成29年災については、近年のゲリラ豪雨にて平成29年6・7月及び平成30年3月に12箇所（田2、農道1、水路9）が被災し、町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。また、平成29年8月に発生した台風5号の影響により2箇所（水路2）が被災し、国庫補助事業にて復旧工事を実施した。

(4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、測量試験費と長土連特別賦課金で実施できる事業。(県は工事、町は設計を実施する。)

平成29年度は、平成28年度繰越事業である恋野地区「赤坂ため池」の改良工事を実施した。また、東町地区「平岩水路」の新規地区採択申請を行い、工事は次年度へ繰越となった。

(5) 農村地域防災減災事業

与川大橋は平成25・26年度に橋梁の構造解析モデルを構築し、大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行った。また、平成28年度に災害防止効果の算定や事業計画を策定し、新規地区採択申請を行った。

平成29年度は、県営事業にて実施設計が行われ、平成30年度から平成31年度にわたり耐震改修工事を実施予定。

(6) 小水力利活用促進事業

平成27年度の小水力発電案件形成事業により、経済性が見込まれた細野洞水路について、平成28年度に小水力概略設計支援事業により、詳細な発電計画及び概略施工計画等を策定し、経済性の評価やCO2削減効果も含めた総合評価を行った。

平成29年度は、計画概要書を作成し、地域用水環境整備事業の新規地区採択申請を行った。

(7) 国土調査事業

平成29年度の国土調査事業は、田立大野正兼地区の山林部を実施した。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 22区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.38km ²	8,912,673円 (7,200,000円) () 内補助対象額
	田立の一部 23区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.29km ²	

国土調査実施地区一覧

年度	地区名	成果面積 (k m ²)	成果筆数 (筆)	区分	認証日	登記完了日
52-18	本谷～下切 28地区	17.23	23,830	平地		
18-19	塚野の一部(山林)	1.10	52	山林	20.3.31	20.5.14
19-20	塚野の一部(山林)	0.90	49	山林	21.4.2	21.6.5
20-21	下切の一部(山林)	0.20	21	山林	22.7.1	22.8.2
21-22	下切の一部(山林)	0.32	22	山林	24.11.12	25.3.8
22-23	塚野の一部(山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25.3.8
23-24	塚野の一部(山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26.6.6
24-25	塚野の一部(山林)	0.09	25	山林	29.4.24	30.2.5
25-26	塚野の一部(山林)	0.33	71	山林	未	未
26-27	塚野・大野正兼の一部(山林)	0.46	105	山林	未	未
27-28	大野正兼の一部(山林)	0.28	67	山林	未	未
28-29	大野正兼の一部(山林)	0.38	156	山林	未	未
29-30	大野正兼の一部(山林)	0.29	72	山林	未	未
計		21.90	24,545			

地籍調査対象面積 69.72km² (平坦部17.23km² 山林部52.49km²)

平坦部成果面積計 17.23km² (進捗率100%)

山林部成果面積計 4.67km² (進捗率8.9%)

(8) 多面的機能支払交付金事業

平成26年度から始まった制度で、農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者が共同して取り組む地域活動や地域資源（水路・農道等）の資質向上に資する活動を支援するもので、平成29年度は23集落、約160㌍の農地を対象に約1千万円（町1/4、県1/4、国1/2）の交付金が支払われた。

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	885	754,328	上在郷	489	361,860
与川3区	813	703,544	尾越	208	62,400
与川4区	694	464,260	上段	541	359,224
与川5区	347	103,500	蘭	213	157,620
十二兼	556	465,728	元組	929	685,080
本谷	783	391,500	向粟畑	1,056	767,840
岩倉	849	753,912	粟畑	1,154	803,980
椰野	202	60,600	下切	891	254,700
川向	276	73,000	大野	626	313,000
上の原	1,405	688,640	正兼	806	596,440
神戸	440	325,600	塚野	1,308	967,920
橋場	462	281,608	合計	15,933	10,396,284

[別表]

平成29年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係

①. 農道整備事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単農道整備事業	与川一区	農道修繕 1箇所	150					150	
	下り谷	原材料支給 1箇所	32					32	生コンクリート t=1.5m ³
農村地域防災減災事業	与川大橋	県営農村地域防災減災事業 与川大橋地区負担金	5,850			5,200		650	
小 計			6,032			5,200		832	

②. 小水力活用促進事業

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
地域用水環境整備事業	東町 (細野洞)	計画概要書作成業務 一式	464					464	
小 計			464					464	

③. かんがい水路改良事業

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地改良施設維持管理適正化事業	与川五区 (坂本平)	実施設計 一式	497	1,800	1,800		600	1,805	
		水路改修 沈砂水槽 1箇所 水路工 L=34.0m	5,508						
	恋野 (鯉ヶ岩)	実施設計 一式	983	3,450	3,450		1,150	3,452	
		水路改修 水路工 L=193.8m	10,519						
町単水路改良事業	町内	水路修繕 3箇所	656				63	593	坂の下・東町・尾又
	下仲町	原材料支給 1箇所	29					29	ダブルプレスト管 φ150 L=12.0m
県単緊急農地防災事業	東町 (平岩)	実施設計 一式	194				19	175	県営事業(水路工 L=99.4m) ※次年度繰越
小 計			18,386	5,250	5,250		1,832	6,054	

④. 災害復旧事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単災害復旧事業	町内	修繕 12箇所 (水路 9箇所・農道 1箇所・田 2箇所)	4,717				111	4,606	
国庫災害復旧事業	上の原 (瀬戸ノ沢)	査定設計 一式	432	3,758			9	802	
		実施設計 一式	173						
		水路復旧工 L=17.0m	3,964						

国庫災害復旧事業	下り谷 (権現)	査定設計 一式	173	1,805			4	265	平成28年度繰越事業 ※国庫補助金は平成28年度に 支出した前払金分を含む
		実施設計 一式	76						
		水路復旧工 L=4.0m	1,825						
	与川三区 (南野)	ボーリング調査 一式	1,609	13,397			23	△ 5,919	
		計画変更設計 一式	400						
		実施設計 一式	162						
		水路復旧工 L=9.0m	5,330						
H26.7.9災害復旧関連	現年度分		3,725				2	3,723	
	繰越事業分		47,913	44,798			19	3,096	
小 計			70,499	63,758			168	6,573	

(単位:千円)

土地改良事業合計	95,381	69,008	5,250	5,200	2,000	13,923
----------	--------	--------	-------	-------	-------	--------

2. 国土調査事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左 の 財 源 内 訳					備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国土調査事業	田立大野正兼 山林22・23区	22区(0.38km ² :156筆)	8,913	3,600	1,800			3,513	
		23区(0.29km ² :72筆)							
国土調査事業合計			8,913	3,600	1,800			3,513	

(単位:千円)

農村整備関係合計	104,294	72,608	7,050	5,200	2,000	17,436
----------	---------	--------	-------	-------	-------	--------

平成26年7月9日 豪雨災害復旧関係

◆平成28年度繰越事業◆

委託料

単位:千円

区 分	箇所及び工種	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	備考
委託料	梨子沢1・平岩地区変更設計及び現場技術監理業務 一式	2,981					2,981	

工事費

単位:千円

区 分	箇所及び工種	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	備考
本復旧工事	梨子沢1・平岩地区 頭首工・水路	44,932	44,798			19	115	

単位:千円

平成28年度繰越事業 合計		47,913	44,798			19	3,096	
---------------	--	--------	--------	--	--	----	-------	--

◆平成29年度事業◆

委託料

単位:千円

区 分	箇所及び工種	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	備考
委託料	梨子沢1・平岩地区安全対策土石流監視システム管理業務 一式 梨子沢1地区実施設計業務 一式	907					907	

修繕費

単位:千円

区 分	箇所及び工種	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	備考
本復旧付帯修繕	修繕 9箇所 (水路 9箇所)	2,818				2	2,816	

単位:千円

平成29年度事業 合計		3,725				2	3,723	
-------------	--	-------	--	--	--	---	-------	--

単位:千円

総 合 計		51,638	44,798			21	6,819	
-------	--	--------	--------	--	--	----	-------	--

6. 林 務

(1) 林業振興関係

(ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

② 林業生産施設整備事業

南木曾町森林組合が導入した高性能林業機械に対して補助を行った。

③ 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて911,202円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	29年度		28年度		27年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	3.50	—	2.80	—	1.75	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	—
除 伐	0.70	—	2.55	—	—	—	
獣害防止	2.80	—	2.80	—	3.90	—	
間 伐	32.39	911,202	17.97	505,005	11.71	299,987	
除間伐	0.10	—	1.10	—	—	—	
搬出間伐	4.57	—	3.20	—	4.17	125,007	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	1.30	—	—
(竹林整備)	—	—	—	—	(1.30)	—	—
計	44.06	911,202	30.42	505,005	22.83	424,994	
作業路(m)	400	—	614.54	—	—	—	
合計	44.06	911,202	30.42	505,005	22.83	424,994	

国庫補助事業の対象となる搬出間伐を日陰ボケ町有林で実施したが、町発注業務としたために、嵩上補助の対象とはなっていない。保育間伐が中心の整備事業は例年並みに進んでいる。森林税事業は補助率が高いことから、町の嵩上げ補助の対象から除外している。

④ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに350,000円を補助した。

⑤木質バイオマス利用意向状況調査

町における森林・林業、木材産業による地域振興を検討する上で、地域に根差した木材利用の一つとして、薪等の木質バイオマス利用について、町民の意向、地域内経済を支える事業者の意向を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。木質バイオマス系利用に3割が興味を示すが、あまり肯定的ではない町民が多くみえました。ただ、現在薪ストーブを利用している方は満足度が高く、可能性の高い木質バイオマス利用については薪が有力であると考えられます。次年度さらに木材利用について探っていくべきと考えられます。

事業費 1,490,400円（地方創生推進交付金事業）

(イ) 植樹祭

10月4日水曜日、吾妻 上段地区北蘭国有林内南木曾岳蘭側登山道入口において、平成29年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭が開催されました。

開催日 平成29年10月4日（水）
時間 午前10:00～11:30
場所 吾妻 上段地区 北蘭国有林
参加者 町内外140人

イロハモミジの苗100本を町内で生産された堆肥を混ぜながら植樹を行いました。

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間 4月1日～5月31日
募金額 254,909円 内訳 世帯募金 235,650円
街頭募金 15,634円
職場等 3,625円

◎ みどりの少年団

木曾地区みどりの少年団交流集会在、7月31日に木祖村こだまの森で開催され、南木曾小学校みどりの少年団が参加、林務担当職員もスタッフとして2名参加した。各少年団の活動発表、名札作り、野外活動をして交流、親交を深めた。

◎ 南木曾中学校体験学習

4月19日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曾地域振興局林務課職員）
24日 椎茸植菌作業 1年生対象に実施
10月23日 林業体験事前学習（講師：南木曾町森林組合）
10月25日 田立地区国有林内の学校林において、林業体験として間伐作業を予定していたが、雨天の為中止

◎ 森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋に本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結していただきました。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただき、大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施しました。

4月10日、14日 新人社員研修
10月27日 秋の間伐作業

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

平成29年度の実施内容は以下のとおり

下刈	(下安町有林)	2.8ha	
鳥獣害防止	(下安町有林)	2.8ha	忌避剤散布
除伐	(天白町有林)	0.7ha	
除間伐	(夏焼町有林)	0.1ha	景観支障木伐採
皆伐	(井戸沢町有林)	0.1ha	倒木などによる家屋への被害防止
搬出間伐	(日陰ボケ町有林)	4.57ha	
保育間伐	(日陰ボケ町有林)	2.70ha	

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：楯 勇志 副委員長：田中 淳司

読書	楯 勇志	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		大蝶 正理		林 重利

任期：平成28年5月1日～平成32年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視を補助するため、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良 実施なし

(ウ) 作業道開設

日陰ボケ町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が侵入可能となり作業効率が向上した。

日陰ボケ町有林作業道開設業務

延長400.0m、幅員3.0m、契約額 1,597,320円

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は拡大傾向となっており依然として被害は後を絶たない。

個体数調整事業は、特定鳥獣保護管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭とした。捕獲実績も10頭であった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

・カシノナガキクイムシ対策

県補助事業により、被害拡大防止に可能な範囲で実施している。

被害の拡大は一時沈静化の状況である。

(被害地域の被害対象となる大径木の大半が被害を受け枯損しているため、新たに枯れる対象が無くなっていると考えられる。)

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会を3月29日に開催し、平成29年度の駆除実施計画、駆除班を編成し、実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者61名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

第1種狩猟免許1名、わな狩猟免許1名の新規資格取得費用の補助を行い有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補事業により塚野地区、町単補助により岩倉地区で緩衝帯を整備し、獣の移動ルート寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザルの行動域調査用GPS首輪発信器を2基購入し、群れの行動範囲の調査体制を整えた。

くくりワナを木曾森林管理署南木曾支署より30基借用、鳥獣被害対策実施隊でくくりワナ修理道具、資材一式を購入し年度内に全て配布した。

(7) 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

平成29年度末までに本登録41頭が登録されている。

平成29年度は新規で2頭の申請がありました。

(8) 治山事業 (県事業)

(ア) 保安林改良事業

塚野地区 (本数調整伐5.84ha、獣害防止1.18ha、簡易治山施設1式)

(イ) 復旧治山

H 2 8 繰越 吾妻 細野沢 (谷止工1基)

H 2 8 繰越 読書 向田 (山腹工0.01ha)

H 2 9 現年 吾妻 米山沢 (谷止工1基)

(9) 災害復旧事業

(ア) 補助災害分 なし

(イ) 町単災害分 日陰ボケ町有林作業道路面洗掘復旧工
林道畑沢線路肩流出復旧工
林道畑沢線路盤流出復旧工
林道細野山線路面転石除去復旧工
林道細野山線路肩流出復旧工
林道西山線路面洗掘復旧工
林道奥向夏虫線転石除去復旧工
林道梨子沢線倒木除去工

(ウ) 県単災害分 なし

平成29年度林務関係主要事業

(1) 林業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha)	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988					988	
林業振興事業補助金 (林業生産施設整備事業)	森林組合		2,500					2,500	高性能林業機械導入補助
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	29.69	911					3,411	造林事業間伐補助
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		350				200	150	その他：寄付金
合計			4,749	0	0	0	200	7,049	

(2) 町有林造成事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
町有林 造成事業 29年度 事業	町	下刈 鳥獣害防止 2.8ha	626				200	426	下安町有林（塚野） その他：寄付金 200千円
		除伐 0.7ha	624				600	24	天白町有林（読書天白） その他：寄付金
		除間伐 0.1ha	486					486	夏焼町有林（吾妻幸助）
		皆伐 ha							
		搬出間伐 4.57ha 保育間伐 2.70ha	5,616		2,211		2,192	1,213	日陰ボケ町有林（読書上の原） その他： 上下流交流基金 324千円 立木売払収入 1,868千円
合計			7,352		2,211		2,992	2,149	

(3) 林道開設・改良・維持事業

ア 林道改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	

イ 林道維持補修

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
林道維持修繕	町内	備考参照	5,365	0	0	0	0	5,365	9路線、15か所 田の沢線：落石除去、播鉢線：小修繕 川向柳野線：区画線、細野山線：倒木処理 長根線：除草作業、日向平線：路面聖地 恋路峠線：側溝排土、大沢田線：倒木除去 林道台帳作成、落石防止調査

ウ 作業道開設

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
日陰ボケ町有林作業道開設	日陰ボケ町有林	作業道開設 400m	1,597		800	0	76	721	その他：上下流交流基金 76千円

(4) カモシカ対策事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	10頭	570	0	0	0	0	570	

イ 捕獲実績

単位：頭数

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
頭数	22	23	13	20	8	8	8	8	8	9	10	10

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
森林づくり推進支援金事業	町内一円	36.16	1,326		1,301			25	県民税事業
松林健全化推進事業	三留野以北	146.47	5,398		3,397			2,001	
(内 松くい虫被害)		(125.83)	(4,239)		(2,821)			(1,418)	
(内 ナラ枯被害)		(20.64)	(1,159)		(576)			(583)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	70.64	1,867					1,867	地権者要望箇所対応
計		253.27	8,591	0	4,698	0	0	3,893	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
処理量	66.19	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62
年度	22	23	24	25	26	27	28	29				合計
処理量	57.21	84.94	134.16	225.40	491.67	201.65	291.42	253.27				2,524.15

(6) 有害鳥獣駆除事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,967					6,967	駆除報償金、くくりワナ購入等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	2,950		1,300			1,650	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	155		76			79	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	田立 塚野	一式	1,449		1,433			16	GPS首輪発信器購入 緩衝帯整備
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	252					252	訓練委託料 飼主障害保険
計			11,773	0	2,809	0	0	8,964	

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	—
有害期間許可頭数等	80	220	3	20	30	5	50	50	10	70	5	10
有害対象期間捕獲頭数	39	112	3	0	0	0	24	41	1	37	1	7
狩猟期間捕獲頭数	19	84	0	0	0	0	4	12	0	27	1	3
駆除合計	58	196	3	0	0	0	28	53	1	64	2	10
(前年度駆除頭数)	63	214	8	9	0	0	28	39	3	42	1	6

ウ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年	1	1	0	0	5	8	0	1	0	1	0	0	17
平成28年	1	1	6	4	9	15	4	1	0	0	0	0	41

エ 忠犬登録実績

単位：頭数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
読書	7	9	18	22	23	26	26	26	27
与川一区	1	1	2	2	2	2	2	2	2
与川三区			2	2	2	2	2	2	2
与川五区			1	2	2	2	2	2	2
十二兼			1	1	1	1	1	1	1
本谷	2	2	2	1	1	1	1	1	1
岩倉	1		1	1	1	1	1	1	1
戸場	2	2	2	3	3	3	3	3	3
川向			2	3	4	5	5	5	5
沼田						1	1	1	1
上の原	1	3	4	4	4	5	5	5	5
和合北									1
新町				1	1	1	1	1	1
東町		1	1	2	2	2	2	2	2
吾妻	4	4	5	7	7	7	7	6	6
中町			1	1	1	1	1	1	1
橋場				1	1	1	1	1	1
大妻籠	2	3	3	3	3	4	4	3	3
下り谷	1	1	1	1	1				
尾越	1								
口広瀬				1	1	1	1	1	1
田立	6	6	7	9	9	9	9	8	8
元組	1	1	1	1	1	1	1	1	1
向粟畑	1	1	2	3	3	3	3	3	3
粟畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大野正兼	1	1	1	2	2	2	2	1	1
塚野	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	15	17	19	30	38	39	42	42	41

(7) 治山事業費

ア 県事業分 (H29年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
保安林改良事業 (H29現年)	塚野	本数調整伐 獣害防除 簡易治山施設	5.84ha 1.18ha 1式	請負金額 12,398千円
復旧治山事業 (H28繰越)	細野沢	谷止工 山腹工	1基 0.14ha	請負金額 32,756千円
復旧治山事業 (H28繰越)	向田	山腹工 実播工 (簡易法枠工)	5.83ha 135m ²	請負金額 6,652千円
復旧治山事業 (H29現年)	米山沢	谷止工	1基	請負金額 13,748千円

(8) 災害復旧事業費

ア 県単独事業分 (H29年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
なし				

イ 町単独事業分 (H29年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
作業道災害復旧	日陰ボケ町有林	路面洗掘復旧工		請負金額 700千円
林道災害復旧	畑沢線	路肩流出復旧工		請負金額 260千円
		路盤流出復旧工		請負金額 737千円
		路面転石除去復旧工		請負金額 88千円
	細野山線	路肩流出復旧工		請負金額 280千円
		路面洗掘復旧工		請負金額 993千円
	奥向夏虫線	転石除去復旧工		請負金額 469千円
	梨子沢線	倒木除去工		請負金額 43千円